



## 復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ニュースレター

### 復興まちづくり協議会・地権者連絡会を開催しました

鵜住居駅前津波復興拠点整備事業、住宅再建支援制度、学校建設に向けた進捗状況を説明し、意見交換を行いました。

また、防災センターについては、住民の声としてまちづくり協議会より市へ、解体の方針として提言を受けました。

開催概要	開催日：平成 25 年 7 月 6 日（土）	時 間：18:00～20:00
	場 所：鵜住居小学校体育館	参加人数：100 人



### 土地利用計画について市役所から報告しました

#### ◆鵜住居駅前津波復興拠点整備事業について

平成 24 年 11 月 30 日に都市計画決定し、今年 3 月に県の事業計画の認可を受けました。6 月 14 日に区画整理審議会の委員の告知を行い、9 名の方に決定しました。また、学識経験者には岩手大学の先生を選任しています。9 月下旬の仮換地指定を目指し、土地の売却意向調査などを進めながら換地設計を進めているところです。

#### ◆津波復興拠点整備事業、箱崎半島線について

駅前の交流拠点に体育館を配置し、交流拠点としてく予定です。鵜住居地区と根浜地区を結ぶ、総延長 2.08km の箱崎半島線（鵜住居 2 号線）の設計を平成 25 年 11 月頃までに終え、平成 26 年 4 月から用地交渉を始め、全線開通は 29 年 3 月を目指しています。

#### ◆鵜住居地区学校等建設プロポーザルの結果について

特定された事業者であるシーラカンズアンドアソシエイツより、鵜住居地区学校等建設について説明していただきました。

### 学校建設について、このような意見をいただきました

- 学校を建てる場所はどこまでで、グラウンドはどこまでか。どれくらい山を崩すのか教えて欲しい。グラウンドの高さで家を建ててよいのか。

グラウンドが 15m、校舎が 18m。学校の下に住宅を作りたいという話がありましたので調整しているところです。

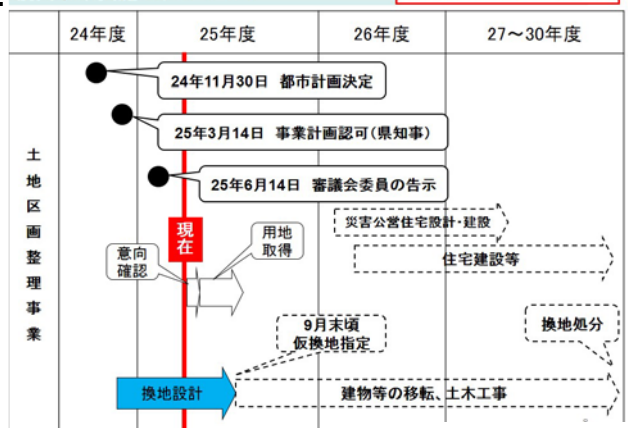
- 学校に関して、どのくらいの規模になるのか。鵜住居に子どもが帰ってこなければ、こんな立派な学校を作っても無駄ではないか。

今後の子どもの数を考えれば規模は大きいものになっています。学校だけではなく地域の防災拠点としての機能も持たせていることから、復興のシンボルとして少し派手なものをプロポーザル審査会にお願いしています。

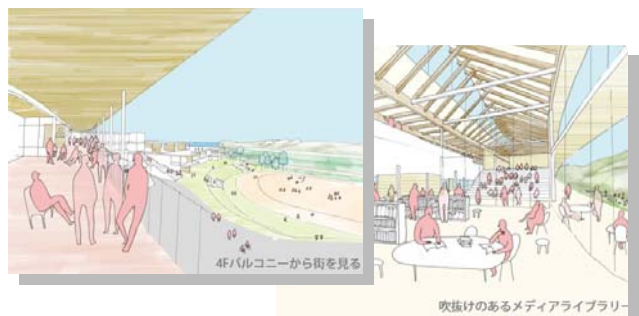
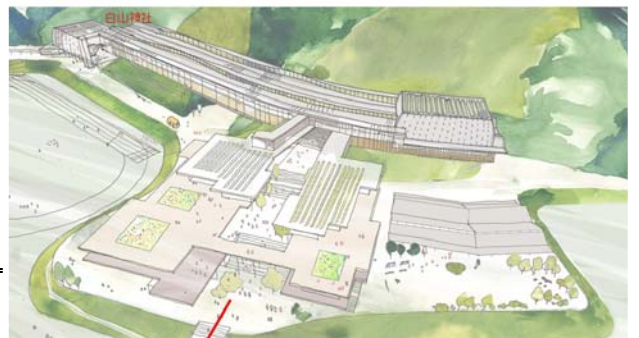
また、震災した各施設については、元の規模を基本に復旧するのが基本姿勢としています。設計業者を決定しましたが、これからもみなさんの意見をいただきながら、よりよい学校にしていきたいと考えています。

復興事業実施スケジュール

※進捗状況に応じて前後します



【別添資料 8 ページ】



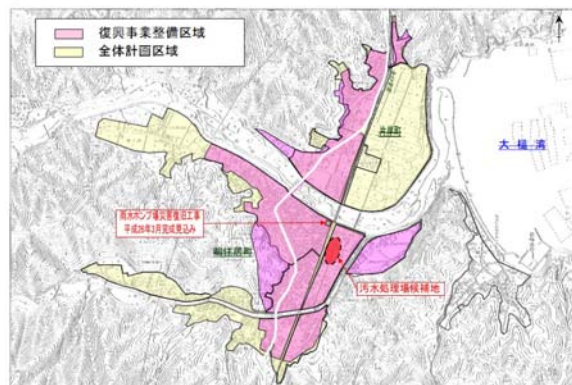
【別添資料 27, 35, 38 ページ】

## ◆下水道事業計画について

汚水処理場は鶴住居駅裏に計画しています。平成 26 年度には処理場、汚水管布設工事に着手し、処理場は平成 27 年度中の完成を目指しています。鶴住居雨水ポンプ場は復旧工事中で、今年度末に復旧する予定です。

## ◆住宅再建支援制度について

現在の自力再建支援制度以外に、国から追加で分配された基金を活用して、新たな支援制度（釜石市単独被災者住宅再建支援事業補助金、釜石産木材活用住宅推進事業）が拡充されました。



## ◆津波復興拠点整備事業と土地区画整理事業の土地の扱いの違いについて

【別添資料 51 ページ】

複数事業が予定されており、各事業により買取りの「方法」「時期」が異なっています。区画整理内は、仮換地指定前の買取り、仮換地指定後の買取りがあります。なお、学校用地は全て買取します。個別については、釜石市又は UR 都市再生機構にて説明させていただきます。

## 支援制度について、このような意見をいただきました

- 支援金が少ないのではないかと。17 年前と同じ金額はおかしい。国に要望して欲しい。色々メニューはあるが、やらない場合とやる場合で区別して欲しい。釜石産材を使うとあるが、材料はあるのか。大槌町のようにはっきりとした説明をして欲しい。

支援金額については、今後も国への要望活動を続けていきます。バリアフリー、県産材については、使った場合に支給されるものです。住宅仕様によりますが、相当程度の方が該当すると見込んでいます。また、釜石産材の供給については十分可能と見込んでいます。仮に足りなくなるようであれば、その時点で対応を考えたいと思います。

- 制度資金について理解したが、今、家を建てようとした場合、若い方はローンを組めるが、我々高齢者はローンを組めない可能性がある。先ほどの制度 資金について年齢制限があるものを教えて欲しい。

今回の制度資金の中で年齢制限はありません。ローンについては金融機関との相談になろうと思いますが、親子ローンなどのご検討をいただくことになると思います。利子補給など必要ですが、ローンを組まない方もいますので、両面での対応が必要だと考えています。



## ◆防災センター解体と鶴住居地区における追悼関連事業に関する取組について

被災者遺族連絡会の要望から、防災センターは解体する方向で考えています。建物の記録作業（3D）を終えてから解体作業に着手する予定です。将来的には鎮魂の森公園とし、震災を風化させず後世に語り継ぐような慰霊碑の建立を考えています。

土地利用計画について、  
住民の皆さんの基本的な合意を得られたと考え、  
この案で進めさせていただきます。  
1 日も早く工事を完成させたいと思います。  
ご協力をよろしくお願いいたします。



- にこにこ農園の残り区画数は 5 区画になります
- 三陸ふじのくに鶴住居絆ハウスは 9 時～17 時まで運営しています。ホールは 9 時から 21 時まで貸出しています。



復興計画の事業進捗等については復興新聞や市のホームページでも公開しています。あわせてご覧ください。

■協議会等に関するお問い合わせ  
釜石市復興推進本部

TEL: 0193-22-2111 (内線 192)  
FAX: 0193-22-9505